

ANCIENT GLASS

BRILLIANT DESIGN, STUNNING TECHNIQUE

春季特別展

古代ガラス 輝く意匠と技法



2024 3/3 SUN - 6/9 SUN MIHO MUSEUM


MIHO
MUSEUM

碗 東地中海地域 前2-前1世紀



古代ガラス

輝く意匠と技法

A N C I E N T G L A S S

B R I L L I A N T D E S I G N , S T U N N I N G T E C H N I Q U E

- 1 | ファラオ頭部 (おそらくアメンホテプ3世) エジプト 前14世紀前半 2 | 脚杯 東地中海地域 1世紀 3 | 長頸壺 東地中海地域 前3-前1世紀
 4 | 獅子頭形杯 アケメネス朝ペルシャ 前5-前4世紀 5 | 植物文ペンダント エーゲ海地域 前14-前12世紀 6 | アラバスター文壺 東地中海地域 1世紀
 7 | 浮出し円文切子碗 ササン朝ペルシャ 5-7世紀 8 | マイナス エジプト 前1-後1世紀

古代エジプト・ツタンカーメン王の黄金マスクには、青いガラスが象嵌されていました。エジプトにガラスが伝わり約200年、ガラスは王家の者しか手にできない宝石だったので。そのガラスの塊で彫刻を作る……これこそファラオにしか成し得ない偉業だったことでしょう。MIHO MUSEUMには奇跡的に今日に伝わった、世界で唯一の古代エジプト等身大ガラス彫刻「ファラオ頭部(アメンホテプ3世)」が収蔵されています。

本展では、MIHO MUSEUMが所蔵する200点以上の古代ガラス作品を、23年ぶりに一挙公開致します。

3000年を越える古代の優雅なビーズたち、人類が無色透明ガラスを手にしてほどなく制作された鑄造「獅子頭形杯」、様々な意匠の首飾りやイヤリング、香油やアイシャドーなど化粧品の瓶、古代ローマの生活を彩った皿や杯やワインの器、ミニチュアの極致・モザイクガラス、正倉院の源流のひとつでもある古代ペルシアのカットガラス、イスラーム世界のカメオガラスなど、バラエティー豊かな世界が広がります。中でも古代のガラスならではの起こる「銀化」の現象は、元の作品からは想像もつかない新たな美の世界を開くことでしょう。

かつて瑠璃(るり)と呼ばれ玻璃(はり)と呼ばれた宝石としてのガラス、古代の人々のガラスへの思いと、それを支えた職人たちの驚くべき高度な技術をぜひご堪能下さい。

開館時間 | 10:00-17:00 (入館は16:00まで) 休館日 | 月曜日 (ただし4月29日、5月6日は開館)、4月30日、5月7日
 入館料 | 一般1300円、高・大生1000円、中学生以下 無料 *当館HPよりオンラインチケットでも購入可能

主催 | MIHO MUSEUM、**京都新聞**

後援 | 滋賀県、滋賀県教育委員会、NHK大津放送局、BBCびわ湖放送、エフエム京都、帝産湖南交通

講演会予定

列品解説

3月24日(日)

講師 | 東 容子 [MIHO MUSEUM 主任学芸員]

ガラスと文明

4月6日(日)

講師 | 谷一 尚 [林原美術館 館長]

ペルシアのガラス

5月12日(日)

講師 | 四角隆二 [岡山市立オリエント美術館 学芸員]

ガラスの分析から見えてくること

5月26日(日)

講師 | 阿部善也 [東京電機大学 工学研究科 助教]
 村串まどか [明治大学 理工学部 助教]

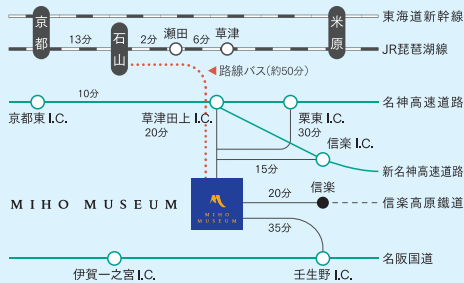
各日とも 時間 | 14:00-15:30

会場 | MIHO MUSEUM (美術館棟内)
 南館レクチャーホール

予約不要 | 当日美術館棟受付にて整理券配布
 参加費 | 無料 (入館料要)

アクセス |

タクシー利用: JR「石山」・「瀬田」・「草津」各駅より35分、信楽高原鉄道「信楽駅」より20分
 高速道路利用: 新名神「信楽IC」より15分、「草津田上IC」より20分、名神「栗東IC」/京滋バイパス「瀬田東IC」より各30分、名阪国道「壬生野IC」より35分



バス時刻表 ※バス時刻は変更されることがあります。

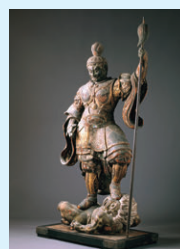
JR琵琶湖線 石山駅 発 ▶ 帝産バス「MIHO MUSEUM行き」(所要時間50分)	
平日	9:10 10:10 11:10 12:10 13:10
土日祝	9:10 9:50 10:10 11:10 12:10 13:10 14:10
MIHO MUSEUM 発 ▶ 「JR石山駅行き」	
	11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:07 17:14
信楽高原鉄道 信楽駅 発 ▶ 「田代・畑・陶芸の森巡回線」(所要時間20分)	
	9:50 13:50
MIHO MUSEUM 発 ▶ 「信楽駅」方面	
	10:10 12:20 13:30 14:06

2024年度夏季特別展

奈良大和路のみほとけ —令和古寺巡礼—

2024年
 7月6日(日) — 9月1日(日)

持国天立像 (興福寺伝来)
 MIHO MUSEUM 蔵
 撮影者: 山崎兼慈



MIHO MUSEUM

〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷300
 Tel.0748-82-3411 <https://www.miho.jp/>